

[高校生によるSDGsグローバル対談]開催

日本・台湾・ヨルダンをつなぐESD探究学習発表会・国際対談

～難民女性の文化・仕事・尊厳から考える平和とフェアトレード～

日本・台湾の高校生・大学生によるESD探究学習発表を行い、ヨルダンからTribalogyスタッフ及び難民女性がオンラインで参加する。現地活動とフェアトレード商品の文化的背景について学んだ後、生徒・学生と難民女性が直接対話し、平和、文化、仕事、人間の尊厳について考える。Zoomで実施し、関係者の同意を得た場合に限り、YouTubeで限定公開配信する。

難民女性を支援の対象としてのみ捉えるのではなく、文化と技能を有し、仕事を通して社会に参画する主体として理解する学習機会をつくる。国境を越えた探究発表と対話を通して、ESD及びグローバル・シティズンシップを育成し、平和で持続可能な社会の形成に主体的に参画する力を育みます。

実施日 2026年8月19日(水) 時間(後日視聴可) 17:00～18:00

タイムスケジュール

17:00- 現地からの挨拶 (NGO・関係者)

探究活動発表会(台湾と日本とオンライン接続)

難民女性支援探究活動報告

17:20- ユネスコ平和の架け橋協働プロジェクト

ヨルダンTRIBALOGY

スタッフ女性との対談会

17:50- 振り返り



(2025年 ヨルダンオフィスにて)
※ヨルダン・台湾・日本を中継

お申込はこちら

<https://forms.cloud.microsoft/r/LT0YGzMYjK>

zoom

リアルタイム参加

YouTube

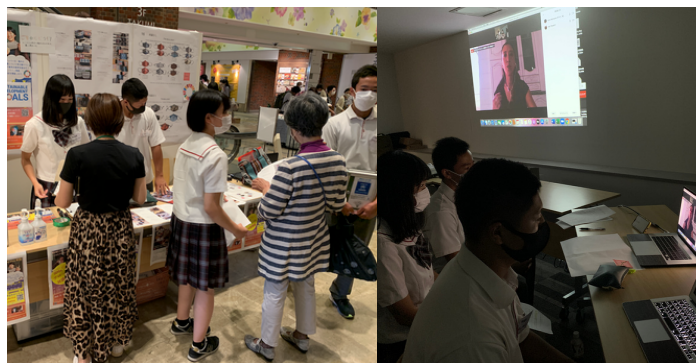
YouTube配信



(2022年 フェアトレード探究ESD活動)



(2023年 フェアトレード探究ESD活動)



(2020年 フェアトレード探究ESD活動)



(2025年フェアトレード探究ESD活動)

主催 : 市邨学園 名古屋経済大学 国際交流センター ユネスコESD推進室
共催 : 市邨学園 名古屋経済大学市邨高等学校 ユネスコ平和教育推進部
後援(申請中) ACCU 愛知県教育委員会 名古屋市 独立行政法人国際協力機構
問い合わせ : 名古屋経済大学国際交流センター ユネスコESD推進室 特任講師 松野 至 0568-67-9325
名古屋経済大学市邨高等学校 ユネスコ平和教育推進部 主任教諭 松野 至 052-721-0161



@ICHIMURA_UNESCO_ACTIVITIES

日本・台湾・ヨルダンをつなぐESD探究学習発表会・国際対談 ～難民女性の文化・仕事・尊厳から考える平和とフェアトレード～

1. 事業名

日本のユネスコ加盟75周年記念事業 高校生によるグローバル対談

ヨルダンの難民女性とのオンライン対談・中継探究学習会 — 文化・仕事・尊厳を学び、国境を越えて平和を築く —

2. 趣旨

本事業は、日本のユネスコ加盟75周年記念事業の一環として、日本、台湾等の高校生・大学生と、ヨルダンで生活する難民女性及びフェアトレード活動に取り組むTribalogyのスタッフをオンラインでつなぎ、探究学習発表会と国際対談を実施するものです。参加する生徒・学生は、パレスチナやシリアをはじめとする難民を取り巻く状況、女性たちの暮らし、文化、仕事、人間の尊厳及びフェアトレードについて学び、学校や国境を越えて対話を重ねながら、商品の紹介や校内外での啓発・支援活動に取り組んできました。当日は、日本及び台湾等の高校生・大学生による探究活動発表を行った後、ヨルダン現地とオンラインで接続します。Tribalogyのスタッフから活動の背景や難民女性との協働について紹介を受け、現地で製品づくりに携わる女性たちから、文化、仕事、生活への思いや将来への願いを伺います。その後、生徒・学生が学習やフェアトレード活動を通して考えたことを伝え、相互の質問や対話を行います。本事業は、商品を購入したり支援したりすることだけを目的とするものではありません。難民女性を一方的な「支援の対象」として捉えるのではなく、一人ひとりが文化、経験、技術及び意思を持つ対話の相手であることを理解し、その声と尊厳を尊重する探究・ESD活動です。ユネスコ憲章の理念に基づき、「人の心の中に平和のとりでを築く」教育実践として、生徒・学生が国際社会の課題を自分事として捉え、対話と公正な社会参加を通して、よりよい社会の実現に向けて行動する力を育むことを目的とします。

3. 目的

- ・ヨルダンで生活する難民女性の暮らし、文化、仕事及び置かれている社会的状況について学び、人間の尊厳と平和の重要性を考える。
- ・参加国の高校生・大学生等による探究活動の成果を共有し、国境や立場を越えた対話と相互理解を深める。
- ・フェアトレード商品の背景にある作り手の思いや技術を学び、消費と国際社会とのつながりを考える。
- ・学習や商品の紹介・販売活動を振り返り、探究による学びを具体的な社会参加や行動へつなげる。
- ・ESDの視点から、難民女性を一方的な支援対象とせず、その声、文化、主体性及び尊厳を尊重した国際協力の在り方を考える。

4. 日時

2026年8月19日（水）ヨルダン時間 11時00分～12時00分

日本時間 17時00分～18時00分／台湾時間 16時00分～17時00分

※日本とヨルダンの時差は6時間、日本と台湾の時差は1時間

5. 実施方法

ヨルダン現地のTribalogy及び難民女性と、日本、台湾等の学校・大学、関係団体をオンラインで接続して実施します。現地には、ユネスコ平和教育及び国際協力に取り組む、名古屋経済大学国際交流センターユネスコESD推進室の松野至が訪問し、ヨルダンにおける難民女性の活動や現地の状況について報告します。参加国の高校生、大学生、地域ユネスコ協会等で活動する学生、関係教員、アドバイザー、協力関係者等が参加予定です。

申し込み先 フォームズ <https://forms.cloud.microsoft/r/LT0YGzMYjK>

※令和8年度文部科学省EDU-Portニッポン応援プロジェクト採択事業

※難民女性の安全、尊厳及び個人情報に配慮し、本人及び関係者の同意を得た範囲で映像・音声を使用します。

※現地の通信環境や参加者の事情により、中継内容を変更し、録画映像や写真による紹介に切り替える場合があります。

6. 主な内容

本学習会及び国際対談は、以下の流れで実施予定です。

- ① 開会
- ② 参加国の生徒・学生によるオンライン探究活動発表
 - ・難民問題、女性の生活、フェアトレード、平和及び国際協力等に関する探究活動発表
 - ・参加校、参加団体による動画またはオンライン発表
 - ・商品の紹介や啓発・支援活動に取り組んだ生徒・学生による学びの共有
- ③ ヨルダン現地からの中継・活動紹介
 - ・ヨルダンにおける難民を取り巻く状況や現地での学びの報告
 - ・Tribalogyスタッフによる活動の目的、難民女性との協働及びフェアトレード商品の紹介
 - ・商品の文化的背景、制作方法及び作り手の思いの紹介
- ④ 難民女性とのオンライン国際対談
 - ・難民女性からの挨拶及び生活、文化、仕事についての紹介
 - ・生徒・学生から、学習やフェアトレード活動を通して考えたことの報告
 - ・難民女性と参加国の生徒・学生との質疑応答及び意見交換
 - ・平和、人間の尊厳、働くこと、将来への願いについての対話
- ⑤ ヨルダン現地の様子の中継
 - ・Tribalogyの活動場所や商品制作に関わる環境の紹介
 - ・ヨルダンの文化、地域及び人々の暮らしの紹介
 - ・現地を訪問した松野至による報告

※通信状況や参加者の安全及びプライバシーへの配慮により、内容を変更または中止する場合があります。

⑥ 振り返り・閉会

- ・参加した生徒・学生及び関係者による感想と学びの共有